



「平成22年国勢調査」に
ご協力をお願いします！
～調査期日は10月1日（金）です～

2010 国勢調査
平成22年10月1日

統計KIDSのページに「こども統計教室」を開設しました！平成22年茨城県統計グラフコンクール作品募集のお知らせ及び統計グラフ作成例（間違えやすいポイント）も掲載しています！

詳しくは↓

いばらき統計情報ネットワーク

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/kids/index.html>

をご覧ください♪

編集後記

間もなく国勢調査が行われます。

今回、国勢調査についての記事を掲載するにあたり、調査へのご協力のお願いに加えまして、国勢調査の必要性や、どう私たちの生活に役に立っているのかということもわかりやすく伝えなければという思いで編集にあたりました。

国勢調査に関する様々な資料に目を通してみましたが、意外だったことのひとつは、調査方法の違いなどはありますが、日本の国勢調査は諸外国のそれと比べますと調査項目が比較的少ないということです。

カナダでは「母国語」、アメリカでは「家庭内の会話言語」などの調査項目を設けていたり、フランスでは、全国を一斉に調査する代わりに、一定期間をかけて順次地域ごとに調査を行う「ローリングセンサス」という手法をとっているようです。また、オーストラリアでは領土が広いため、調査員にはヘリコプターの使用も認められているという話もあるようです。

世界各国で行われている国勢調査ですが、それぞれの国の事情によっていろいろな違いがあるものですね。

(マサムネ)

統計いばらき 2010.9 No.673

平成22年9月発行

編集／茨城県企画部統計課

発行／茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市笠原町978-6

電話 029-301-2637

FAX 029-301-2669

印刷所／コトブキ印刷株式会社